

終了報告書<短期プログラム(3か月未満)用>

報告年月日 2017 年 7 月 28 日

留学プログラム名	TASTE 海外英語研修プログラム	
所属学院等 (学院/類/学部/研究科)	工学部	
所属系・コース等 (系・コース/学科/専攻)	無機材料工学科 学士 3年	
留学先国	カナダ	
留学先大学等	ウォータールー大学	
留学期間	プログラム期間:	2017年 7月 3日 ~ 2017年 7月 28日
	実際滞在期間:	2017年 7月 2日 ~ 2017年 7月 29日

報告書について

- 上記内容に加え、**下記の①～⑪の内容についても併せて**提出すること。別ファイルでも、この報告書の下に書き続けても構わない。ただし、①～⑪の各項目がわかるようにすること。また、公開してもよい写真がある場合は、①～⑪の各項目の中に貼付することが望ましい。
- 提出先:**各プログラム担当部署 (word ファイルで提出すること。)

報告事項

① 留学先(参加プログラム/受入れ機関)の概略

English for Success はカナダのオンタリオ州ワーテルロー大学付属レニソン大学で開講される 4 週間の短期夏季プログラムである。スピーチ、リスニング、ライティングの英語力だけでなく英語のイメージ環境でプレゼンテーションやコミュニケーションスキルを向上させることを目的にしている。授業は初級から上級まで 4 段階に分けられ、週 25 時間計 100 時間行われる。その内訳はプレゼンテーションスキル (週 10 時間)、リスニングスピーキング (週 5 時間)、総合スキル (週 10 時間) である。また寮にはプログラムのアシスタントが常駐し、授業時間外の勉強のサポートも得ることが出来る。

② 留学前の準備

留学を控えた一か月前に気胸を発症してしまったため、体調面に関しては人一倍気をつけて生活を行った。

③ 留学中の活動及び感想

自分が留学を行ったのは日本の大半の大学が授業を行っている 7 月ということもあり、7 月からの日本人参加者は自分一人であったことが分かったときは強い不安を感じていました。しかし、留学の四か月前にスペイン、二か月前に香港を訪れるなどして現地の簡単な挨拶

拶を覚えていたことが幸運となってプログラム開始日から多くの友人を作ることができました。留学中は仲の良い友人たち、メキシコ人の言葉を借りれば Family と一緒に宿題を行い、バーに行き、そして近くの街まで遊びに行くなどとても楽しい日々を送ることが出来ました。誕生日がプログラム期間中にあったのですが、あんなに盛大に祝ってもらったことは忘れることが出来ないと思います。彼らには感謝してもきれないと今でも思っています。また日本人が自分だけというのは自分にとってとても良い状況であったと今では思っています。どこの国の人でも自分と同じ出身国でグループを作り母国語で会話しているのをよく見かけました。たぶん自分も他に日本人がいればそうであったと思います。しかし自分は日本人一人であったため同じプログラムだけでなく違うプログラムを含めた様々な人と関わることが出来ました。そのためか最終日のセレブレーションパーティーでは修了生の代表としてスピーチをさせていただく機会を得ました。これも貴重な経験であったと思います。

④ 留学を終えて、自分自身の成長を実感したエピソード

海外によく行くこともあり、英語での会話に対する苦手意識などはもともと希薄でありました。しかし海外の大学生と一か月も同じ屋根の下で暮らすというのは自分の英語力を確実に向上させたと思います。また、様々な国の学生との会話の中で自分がいかに学生生活を浪費しているのかを強く意識しました。隣国の中国や韓国の学生がいかに勉強を必死にやっていたのか、いかに勤勉であるのかを知ることで、危機感のようなものを感じました。この留学で得られた経験から、自分の今までの怠慢を反省し再び勉学に取り組む意識を取り戻したのは最大の成果であると思います。

⑤ 留学費用

航空券は気胸の影響で直前にとったため 16 万円ほどと高くなってしまいました。プログラムは 3300CDA ほどで、そのうち 8 万円を奨学金から出してもらいました。

⑥ 留学先での住居

プログラムの申し込みと同時に申し込んだ大学内の寮で生活を行いました。ルームメイトはメキシコ人で、カンクン出身であったので英語は堪能でした。ただ彼はたまに女子を部屋に連れ込むのでそれには驚かされました。寮内には洗濯機や乾燥機など生活に必要な家電は全て揃っているため寮を出なくても生活することは可能です。また歩いて行ける距離に大きなスーパーと酒屋があります。洗剤など寮内で買えないものはそこで購入が可能です。

⑦ 留学先での語学状況

留学先では当たり前ではありますが英語を使用していました。気胸によって留学前の語学力を図るための試験を受けられなくなってしまったので具体的な語学力はわかりませんが、参考までに自分の学部一年生のころの TOEIC の点数は 560 点でした。

⑧ 単位認定(互換)

単位認定は2単位分行う予定です。

⑨ 留学経験を今後、どのように活かしたいか

留学自体からも様々な経験を得られましたが、そこで得られた友人からもとても貴重な経験を得ることが出来ました。プログラム終了してからも自分が北京を訪れたり、カナダ人が日本を訪れたりと関係は続いています。メキシコで地震が起こった時には電話がかかってきて状況を知らせてくるなど、世界をより身近に感じました。今後はこのような経験をさらに積極的に海外に出ていけるような、そして修士からは海外で研究できるような素地にしていきたいです。

⑩ 留学先で困ったこと(もしあれば)

海外でも俗に言う飲みにケーションは存在します。自分はお酒が強くない人間でしたので、海外の人とお酒を飲むのは少し大変でした。

⑪ 留学を希望する後輩へアドバイス

たとえ言葉が違って同じ人間なので意思疎通することは難しくないと思います。特にこのプログラムは楽しみながら英語力をつけようという趣旨なので、引っ込み思案の人でもたくさんの人と喋る機会を得ることが出来ると思います。